

深田 征三



ふかた せいぞう

限界集落を問う

質

本市の現状は、市内250区のうち53区が限界集落となっている。

また、55歳以上が半数をを超えた準限界集落は、166区と約7割近くにおよぶ。この限界集落を存続可能な集落に再生する予防行政は。

答

総務部長

市の総合計画では、平成27年における65歳以上の高齢者人口は、40%以上と予想されています。

これは、本市そのものが共同体の維持機能の限界に達する、いわゆる「限界自治体」の一手前にあるこ

とを示唆するものです。地域の活性化につながる施策・事業に、住民と行政が一体となって取り組まなければなりません。

限界集落とは？

過疎化などで人口の50%が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落のことを指す。



▶長年、人が住んでいない民家

衛藤 竜哉



えとう たつや

観光資源を活かし、田舎を発信して行こう

質

原尻の滝を中心に、緒方三郎 惟栄伝説と農村景観日本百選の路として、公認コースの登録をした約8.5キロメートルのコースを3時間ほど掛けて散策した。

また、大野町の商工会女性部を中心に「カントリーウォークの里づくり」が企画され、手作りのマップを片手に散策するウォーキングが開かれた。

こうした活動が、地域の活性化、住民のやる気を奮い立たせると考える。市として、どのようにバックアップをするのか。

答 経済産業部長

ウォーキングを、イベントとして実施するのではなく、コースを1つのスポーツ施設、体験施設と位置づけ、市民団体からの推薦をもとに「まちづくりウォーキング（仮称）」として市が認定する仕組みを考えています。

生中継が見られます

質

合併して3年が過ぎようとしている。新庁舎の建設計画もあるが、早く議会の映像を公開すべきでは。

答

企画部長

平成20年度に、市役所の一階市民ホールで放映する計画です。

公平かつ効率的な情報公開を考えると、ケーブルテレビでの配信が最適と考えています。



▲約50人が見て聞いてウォーキングを楽しみました（緒方町）

